

復興における女性の活躍事例

監査専門調査会防災・復興ワーキンググループ報告

2014/1/31



Ⅰ 団体紹介/代表紹介

代表 藤沢 烈（ふじさわ れつ）

（社）RCF復興支援チーム 代表理事

一橋大学卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て独立。NPO・社会事業等に特化したコンサルティング会社を経営。東日本大震災後、RCF復興支援チームを設立し、情報分析や事業創造に取り組む。文部科学省教育復興支援員も兼務。共著に「ニッポンのジレンマ ぼくらの日本改造論」（朝日新聞出版）、『「統治」を創造する 新しい公共/オープンガバメント/リーク社会』（春秋社）。



@retz

藤沢烈（フィード購読）

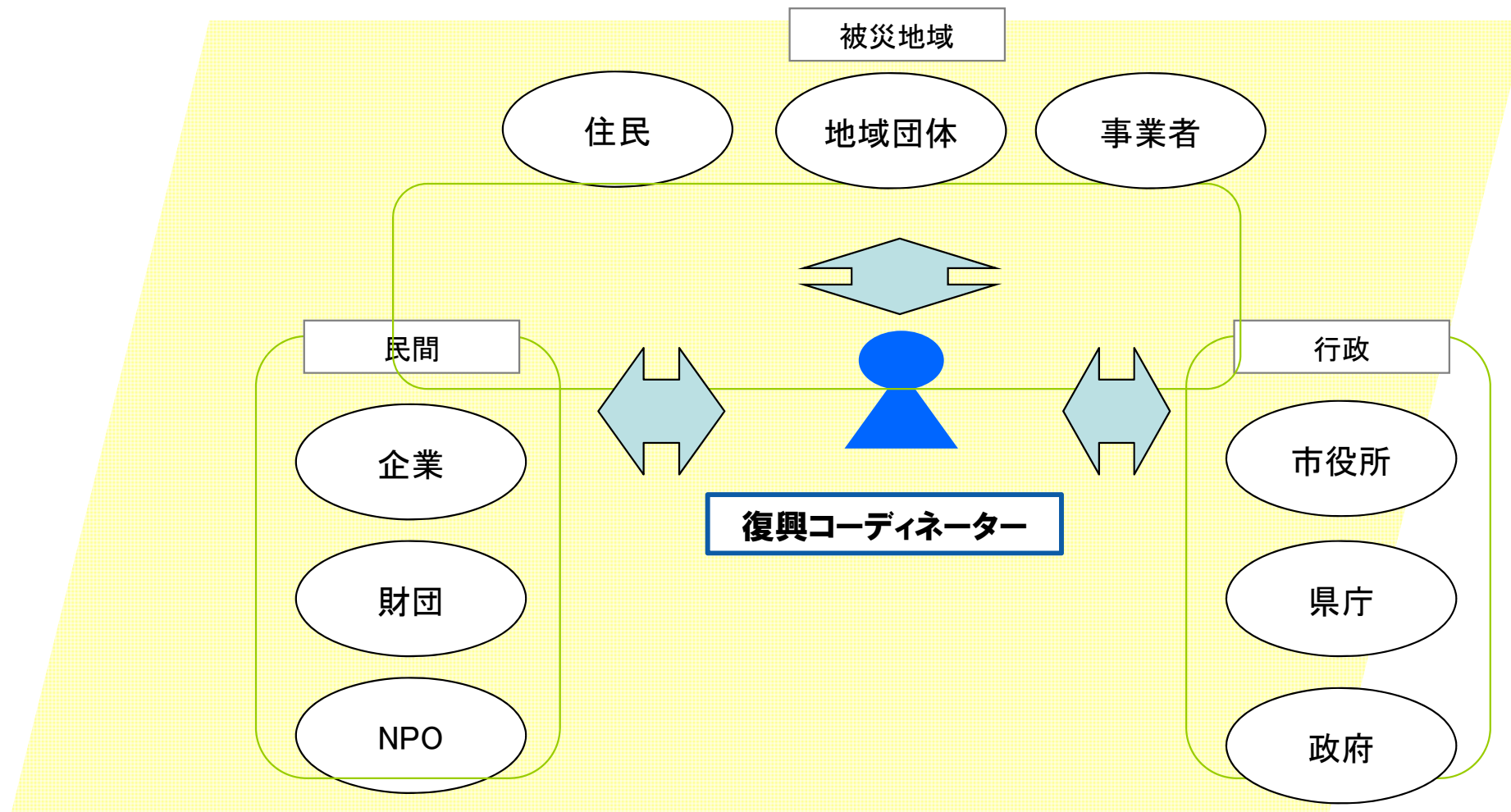
藤沢烈 **BLOG**

<http://retz.seesaa.net/>

（社）RCF復興支援チーム

2011年4月、震災復興のための調査を行う団体として発足。現在は復興事業立案、コーディネートも含めた「復興支援プロデューサー」集団として活動している

RCF復興支援チームの取り組み概要



- ・震災復興を通じて地域社会の在り方を変革する
- ・復興の枠に留まらない日本の新しい社会像を生み出す

被災三県別女性の活躍事例

地域	コミュニティ	産業
岩手	①児童文学作家指田和さん 『震災の教訓を伝える絵本』 ②伊藤艶子さん 『スタコラ音頭』	⑤一般社団法人reterra 『気仙椿ハンドクリーム』
宮城	③NPO法人グランドラインズ 『現代版「TERACO」』	⑥一般社団法人WATARIS 『亘理伝統工芸ふぐろ』 ⑦まゆ工房～彩～いろどり 『伝統工芸まゆ細工』
福島	④なこそ復興プロジェクト 『いわき市岩間町女性サロン』	

①コミュニティにおける女性の活躍事例:『震災の教訓を伝える絵本』



出所:「釜石復興新聞」2013年2月26日

【主体】

児童文学作家指田和さん

【取組概要】

- 児童文学作家の指田さんは子供達が大津波から生き残ったことに関心
- 教員や児童、生徒から1年半をかけて取材し、「つなみてんでんこ はしれ、上へ」という絵本を作成
- 子供達に防災意識や震災の教訓を伝える教育の材料として活用

防災意識・震災の教訓という子供達にとって理解が難しいテーマに対し、親しみ易く理解しやすい絵本という表現方法を活用

②コミュニティにおける女性の活躍事例:『スタコラ音頭』



出所: 釜石やっぺしFM HPより

【主体】
伊藤艶子さん

【取組概要】

- 津波に追われながら逃げた体験を歌詞にして、後世に残すべく、釜石最後の芸者である伊藤艶子さんに「スタコラ音頭」として作曲、振り付けを依頼
- 震災の教訓や震災体験を後世にまで残す活動として、釜石市の住民達に地域の祭りでも用いられる親しみやすい踊りとして浸透

永続的な震災体験を伝承すべく、言葉よりも伝えやすい体で表現・伝達可能な「音頭」を創出

③コミュニティにおける女性の活躍事例:『現代版寺子屋TERACO』



学習スペースを提供するホテルの女将阿部憲子さん

出所:「日経経済新聞」2011年7月17日記事より

【主体】

NPO法人グランドラインズ

小楠あゆみさん／阿部憲子さん

【取組概要】

- 被災後、子供達の学習機会の損失が課題
- 子供達の不安を憂う親御さんのニーズに気付いた小楠あゆみさんと一児の母であるホテルの女将阿部憲子さんが自習支援を実施
- 2011年より300名以上の大学生と共に、これまで13000人以上の子供に学校・自宅以外の「第三の居場所」を提供

家庭を見守る機会の多い女性だからこそ、子供達の勉強の遅れを不安に思う親御さんのニーズにいち早く察知

④コミュニティにおける女性の活躍事例:『いわき市岩間町サロン』

懐かしい顔集い談笑 いわき市岩間町の女性がサロン




福島民報
2014年 1月 26日 (日)

出所:福島民報1月23日記事より

【主体】

- ・福島県いわき市岩間町の女性住民達

【取組概要】

- ・避難生活は長引き、住民同士の結びつきが弱体化
- ・そこで、森みや子さんらの呼びかけに応じて、福島県いわき市岩間町の女性住民がなこそ交流スペースで「岩間サロン」を開催
- ・約30人程が集まり、日頃の悩みやストレスを話す場を提供

女性だけが集まる場を持つことで、男性には話しにくい女性が抱える悩みやニーズを共有する場を女性主体で創出

⑤産業復興における女性の活躍事例:『気仙椿ハンドクリーム』



出所:「En女性医師会」HPより

【主体】

一般社団法人reterra
En女医会
ハリウッド化粧品

【取組概要】

- 地域の産業復興のため、東北三陸海岸沿いに自生する気仙椿の利用を考案
- そこで、女性医師の集まり「En女医会」と「ハリウッド化粧品」が商品開発などに協力
- 家事や職業柄、手を洗う機会が多い女性達の意見を元に、「気仙椿ハンドクリーム」を開発

女性が積極的に関わったことで、家事や育児の多い女性の悩みやロゴ・パッケージなど女性が手に取り易い商品を開発

⑥産業復興における女性の活躍事例:『亘理伝統工芸品ふぐろ』



代表の引地恵さん



【主体】

一般社団法人WATARIS
引地恵さん

【取組概要】

- 昔から亘理町では、伝統的な女性の手仕事である「ふぐろ」の文化が存在
- そこで引地恵さんが、亘理伝統の「ふぐろ」を一般向けに製品化
- 東京のセレクトショップや百貨店、またネットで大々的に販売したり、地域の女性と共に定期的に「手仕事ワークショップ」などを開催し、地域の担い手となる女性の活躍機会を提供



出所:一般社団法人WATARIS HPより

元々地域女性の伝統工芸であった「ふぐろ」作りを通じて、女性が活躍できる就労機会を提供したり、地域の女性が集まる場を構築

⑦産業復興における女性の活躍事例:『伝統工芸品まゆ細工』



出所:まゆ工房～彩～いろいろHPより

【主体】

「まゆ工房～彩～いろいろ」

代表 松岡由佳里さん

【取組概要】

- 被災後、職を失い、家に閉じこもったり、孤独に暮らす人が増加
- 繭細工で起業していた松岡由佳里さんは、被災して職を失った地元女性達を採用
- まゆ細工を通じて、生きがいつくりや子育て期にある女性と子育てを終えた女性の交流機会を提供

地域女性の伝統工芸であった繭細工の販売事業を通じて、女性が活躍出来る就労機会を提供

3.女性参画による成功要因

1.女性視点による課題・ニーズの把握（why）

普段の家事・育児を通じた女性の目線で、男性とは異なる課題・ニーズの把握が可能

2.男女を越え、共感を得やすい手法（what）

説明・理解させづらい難解なテーマ（防災、教訓、悩み）に対して、共感を得やすい手法を用いることが可能

3.女性の力を活用（how）

旧来から女性が作り手の中心となってきた工芸品などを用いて、子育て中の女性でも活躍できる就業機会を創出